

緊急地震速報

スタート

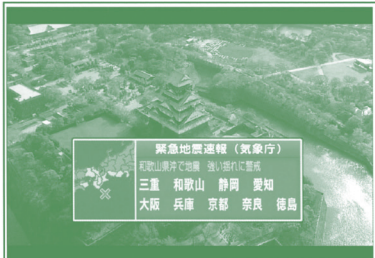
10月1日~

緊急地震速報「利用の心得」

周囲の状況に応じてあわてずにまず身の安全を確保する!

緊急地震速報を見聞きしてから、地震の強い揺れが来るまでの時間は数秒から数十秒しかありません(震源に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わない場合があります)。その短い時間に身を守るための行動として何が出来るのかを、以下の行動例を参考に、日頃から考えておくことが重要です。

**家庭では 頭を保護し丈夫な机の下などに隠れる
あわてて外へ飛び出さない**



(速報イメージ:NHK提供)



**自動車運転中は
あわててブレーキをかけない
ハザードランプを点灯し、揺れを感じたらゆっくり停止**



**人がおおぜいいる施設では
あわてて出口に走り出さない
係員の指示に従う**



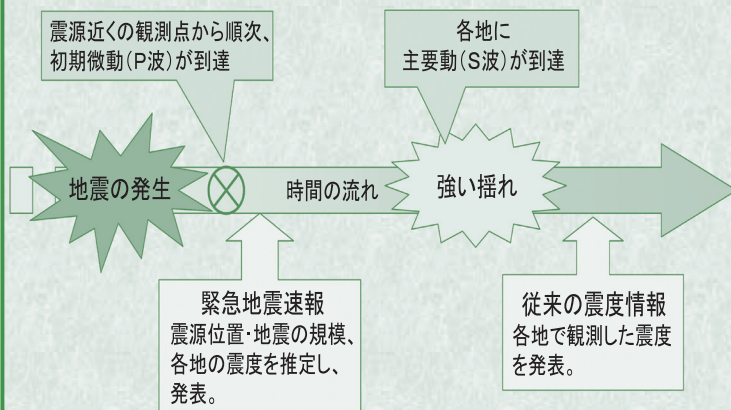
「緊急地震速報」は、震源に近い観測点で地震を検知し、直ちに震源や地震の規模(マグニチュード)などを推定し、大きな揺れがせまっていることをお知らせする情報で、10月1日からスタートしました。

最大震度5弱以上が推定される地震の際に、強い揺れ(震度4以上)のある地域の名前を強い揺れが始まる数秒〜数十秒前に素早くお知らせするもので、住民の皆様はテレビ、ラジオなどをとおして速報を見聞き

することが出来ます。わずかに数秒〜数十秒の猶予時間ですが、大きな揺れが来る前に机の下に身をかくしたり、火の始末をするなど、周囲の状況に応じあわてずに適切な行動をとることがにより、被害を軽減することが期待されます。身の安全を確保するため、この数秒間にできることを日頃から考えておきましょう。

- ▼頭を保護し、大きな家具から離れ、丈夫な机の下などにかくれる。
- ▼あわてて外へ飛び出さない。
- ▼その場で火を消せる場合は火の始末を。
- ▼扉を開けて避難路を確保。
- ▼多数の人が出入りする施設では
- ▼施設の係員等の指示に従う。
- ▼その場で頭を保護し、揺れに備えて身構える。
- ▼あわてて出口、階段などに殺到しない。

緊急地震速報とは? —従来の震度情報との違い—



※ 地震を検知してから発表する情報であり、「地震予知」ではありません。

- ▼吊り下がっている照明などの下から離れる。
- ▼屋外では
- ▼ブロック塀の倒壊や自動販売機の転倒に注意し、そばから離れる。
- ▼壁、看板、割れたガラスの落下に備え、建物のそばから離れる。
- ▼丈夫なビルのそばであれば、ビルの中に避難する。
- ▼山やがけの近くでは、落石やがけ崩れに注意。
- ▼自動車を運転中はあわててスピードを落とさない。ハザードランプを点灯するなどして、ゆっくり減速。
- ▼大きな揺れを感じたら、急ハンドル、急ブレーキをさけ、道路の左側に停車。
- ▼バス・鉄道に乗車しているときは
- ▼つり革、手すりなどにしっかりつかまる。

あなたの命にかかわる速報です。10月1日スタート



緊急地震速報

来る前に知る

詳しくは気象庁のホームページをご覧ください (<http://www.jma.go.jp>)

想定降雨

平成12年の東海豪雨相当の降雨を想定
・1時間雨量95mm
・48時間雨量512・7mm

浸水想定区域図の注意点

複数の箇所では堤防が壊れたり、水があふれたりしたときのはん濫区域を重ねあわせたもので、想定される最大の区域と水深が示されています。実際はそれらのうちの限られた箇所でははん濫が発生し、その箇所から浸水区域が徐々に広がっていきます。支川(犬打川等)や内水(堤内地にたまった水)によるはん濫等は考慮されておられませんので、浸水想定区域図で示された

田原川の浸水想定区域図

公表

京都市では洪水による被害の軽減を目的に府内の河川について浸水想定区域図の作成作業を進めており、この度、田原川についての浸水想定区域図が公表されました。

浸水想定区域図とは

河川のはん濫という万が一の場合を想定し、あらかじめ住民の皆様が浸水想定状況をお知らせすることにより、洪水による被害の軽減を図ることを目的に作成されるもので、浸水があると予想された水深を6段階に色分けして表示しています。

ホームページ

【京都府】
<http://www.pref.kyoto.jp/kasen/1170048959713.html>

【京都府山城広域振興局】
<http://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/kensetu/shinsui.html>

【総務課】(0800-06031)

雨の強さと降雨状況

1時間雨量(mm)	予報用語	人の受けるイメージ	人への影響
10以上 20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	地面からの跳ね返りで足元がぬれる
20以上 30未満	強い雨	どしゃ降り	傘をさしてもぬれる
30以上 50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	
50以上 80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる
80以上	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	